

第2学年*組 技術・家庭科学習指導案

指導者 野口 真納美

1 題材名 商品の選択と購入について考えよう

2 目 標

- 自分や家族の消費生活や環境に配慮した消費生活に関心をもち、消費の在り方について考えようとしている。 (生活や技術への関心・意欲・態度)
- 収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。 (生活を工夫し創造する能力)
- 物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。 (生活の技能)
- 家庭生活と消費、消費生活と環境とのかかわりに関する知識を身に付けている。 (生活や技術についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本題材は、中学校学習指導要領解説技術・家庭編の内容「D身近な消費生活と環境」のアイの内容をねらいとしている。本題材では、生活に必要な物資・サービスの選択・購入する際に本当に必要なものであるかどうかを判断するために、多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し、物資の適切な選択ができるようにするための活動を行い、実生活に活用できるようにしたい。

また、様々な消費生活の問題を家庭の経済に結び付けて考え、賢い消費者として自立していく力を身に付けることをねらいとしている。

(2) 生徒の実態(男*人 女*人 計*人) 平成*年*月*日実施

質 問		回 答			
1	買い物をする際に値段を意識している。	はい	*人	いいえ	*人
2	絵表示・原産国・原材料などを確認して購入している。	はい	*人	いいえ	*人
3	買い物をする際に誰かに相談して購入している。	はい	*人	いいえ	*人
4	お小遣いをもらっている。	はい	*人	いいえ	*人
5	お小遣い帳をつけている。	はい	*人	いいえ	*人
6	必要なないものを買ってしまったことがある。	はい	*人	いいえ	*人
7	6で「はい」と回答した生徒(どんなものですか)	文房具類・衣服など			

調査結果から、買い物をする際に考慮していることは、絵表示などの表記を気にする生徒も多いが、原材料や原産国よりも値段を重要視していることが分かった。自分のお小遣いの金額よりも高いもので欲しいものがある場合には親や祖父母にお願いし、即時に購入する生徒もいることが分かった。また、安価な物品の購入の際に、誰かに相談して購入することができないため、必要なないものを買ってしまうなど、買い物の失敗を大多数の生徒が経験していた。社会生活を営む上で必要な消費者として自覚しておかなければならぬことや、万一对トラブルに巻き込まれた時の解決方法などについて、知識や態度、工夫しなければならないことはまだ身に付いていないと考える。

(3) 指導観

指導に当たっては、身近な事例や物資を取り上げ、興味・関心をもたせるようにする。また、消費活動に关心をもち、購入すべき物資を選択する力や購入のための価格や品質などの情報を収集したり整理したりしながら最終的に何を購入すべきか考えがまとめられる力を身に付けさせたい。そこで、少人数での話し合い活動（言語活動）を取り入れ、その中から消費者に必要な態度は、いかにあるべきかを検討させる。

また、生徒の実態調査の結果から、物資やサービスへの興味・関心が高まる時期であることが分かる。そのため、自分の意志で購入する機会も増え、今後の生活でトラブルに巻き込まれる可能性も予想される。生徒自身が、物資を選択していく上では、商品購入の目的や必要性、商品自体の機能や品質、さらに環境への配慮や保証なども考慮しなければならないことにも目を向けさせたい。

4 学習計画（6時間扱い）

第1次 自分や家族の消費生活	1 時間
第2次 消費者の権利と責任	2 時間
第3次 物資・サービスの選択と購入	2 時間

時間	主な学習活動・内容	評価の観点
1 本時	・生活に必要なものを適切に選択し 購入して、活用するために必要な 情報をを集め整理する。	・必要な情報を適切に収集し、整理することができる。 (観察・ワークシート：生活の技能)
2	・物資の品質や保証などのサービス などについて比較したり検討した りしながら確認する。	・物資やサービスについて理解し、購入に際し 適切に選択できる知識を身に付けている。 (観察・ワークシート：生活や技術について の知識・理解)

第4次 環境に配慮した消費生活 1 時間

5 本時の学習

(1) 目標

- 物資・サービスの選択、購入について必要な情報を適切に収集及び整理することができる。

(2) 準備

チラシ、商品写真、付箋、ワークシート、テレビ

(3) 展開

学習活動・内容	支援の手立て・評価(※評価)
1 前時の振り返りをする。	・商品をサービス面と物資面で分類させる。
2 本時の課題を確認する。	・本時の課題を確認させ、学習内容や学習の見通しが持てるようにする。
「広告などの情報から必要なものを選択しよう」	
3 生活に必要な物資を選択する視点をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・物資…靴・衣服・食品・バッグ・ゲーム機・デジタルカメラ・テレビ 等 ・視点…価格・デザイン・期限・品質(スペック)・原産国・環境への配慮・メーカー・ブランド・機能・保証 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資を購入するためには、購入するための適切な視点があることを復習し、本時の活動に生かせるようにする。 ・購入(買い物)する際の、自分の状況(何を重視して購入するかなど)を思い返しながら視点のまとめができるようにする。 ・同一のグループでアドバイスい合いながら活動が進められるよう助言する。 ・提示した広告を情報源とし、そこから必要な情報を取り出させ、適切な情報の収集及び整理をさせる。 ・情報の収集がなかなかできない生徒には、視点を確認し、選択した理由も説明ができるよう助言する。
4 広告から必要な情報を集め、整理して必要な物資を選択する。 <ul style="list-style-type: none"> ・視点を押さえながら情報を集める。 ・購入・使用の目的を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で話し合い、重要視した情報を付箋紙で広告に張り付けながら、話し合いを進めるよう助言する。 ・小集団での話合いにより、自由に考えを述べられるようにすることで、多様な意見が引き出せるようにする。 <p>※広告から必要な情報を読み取り、話し合いを通して適切に情報を選択し、整理することができる。 (観察・ワークシート：生活の技能)</p>
5 選択した情報の整理とその適正さについてグループごとの話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・考えた条件 ・選んだ理由・視点 ・実生活への活用の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活へ生かすための消費行動について考えが深められるようになる。 ・次時の学習について予告し課題意識を持たせるとともに、次の学習への期待感をもたせる。
6 本時のまとめをし、次時の学習内容を知る。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">消費者として情報を集め、整理し、生活に必要な物資・サービスを適切に選択・購入することが重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自己評価をする (2) 次時の学習内容を知る。 (3) 片付けをする。 	